

化学工学会エネルギー一部会熱利用分科会 第20回研究会  
「一熱交換器の最新動向ならびに凝縮・蒸発現象一」  
講演会と住友精密工業本社工場見学  
開催報告

日時：平成22年10月29日(金)

平成22年10月29日13:30より、住友精密工業株式会社本社工場にて、56名の方々にご参加いただき第20回(平成22年度第1回)研究会を予定どおり開催しました。

前半の講演会では、九州大学大学院総合理工学研究院教授の小山繁先生と住友精密工業・安孫子哲男氏のご講演がありました。小山先生は「気液二相流伝熱研究—ヒートポンプ・冷凍システムの高性能化を目指して—」と題して、冷凍空調技術者の技術ニーズの詳細な検討、小山先生が行ってこられたヒートポンプシステム、冷媒、熱交換器に関する多彩なご研究の紹介など、企業技術者にとっても大学研究者にとっても興味深いと同時に、内容の豊富さに圧倒される思いのするご講演をしてくださいました。



質問に答える小山先生



ご講演中の安孫子氏

安孫子氏からは、各種プレートフィン熱交換器の構造や特長、エネルギー・環境分野における利用についてのご講演がありました。工場見学では、航空・宇宙、熱交換器部門を見学し、精密であると同時にダイナミックな生産現場と製品について参加者の皆様から感嘆の声が聞かれました。

質疑、総合討論では、冷却空調機器や冷媒の今後の動向からわが国のものづくりの未来にいたるまで、活発な発言が続きました。本研究会は、伝熱学会関西支部伝熱技術フォーラムと共同で開催しました。普段は交流の少ない伝熱側参加者との楽しく有意義な交流の場ともなりました。

(第20回研究会担当幹事 藤岡恵子)



講師を囲んで参加者の皆様